

講義名	課題演習(経営管理)				授業形態	
担当教員	潘 志仁	開講期・曜日・時間	前期 木曜日 1 1時限			
		単位数	2	履修開始年次	1 年生	ナンバリング・コード
主題と概要						
本演習では修士論文の完成を念頭に、受講生が各自の研究テーマを選んで、テーマ設定から、問題意識の絞り方、先行研究の仕方、分析フレームワークの提示、仮説の検証、結論のまとめ方まで実証研究のあり方を中心に指導する。 演習前半では、受講生が教科書にそって、与えられる意を発表してもらい、それをもとにディスカッションを行う。演習後半では、受講生が修士論文のテーマについてプレゼンテーションを行ってもらう。						
到達目標						
よい研究とはなにかを理解できる。 実証研究の方法を習得できる。 研究におけるなつ歪を防止するための研究倫理の重要性を認識できる。						
提出課題						
発表者は各自の研究課題を発表し、その発表内容をコメンテーターが批判したり、質疑したりする。その他の学生にも討論への参加が求められる、						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
【受講生の発表や報告につきましては、講評・解説を行います。						
評価の基準						
発表60点 コメント30点 出席10点						
履修にあたっての注意・助言他						
授業開始後、スマホをかばんの中に入れてください。 無断欠席・遅刻は厳禁。						
教科書						
参考図書						

その他		
教科書および参考文献につきましては、適宜指示をします。		
授業計画		
1. ガイダンス：本授業の狙いと進め方 【予習】講義資料と教科書を精読（2時間）、【復習】講義の内容の理解を深める（2時間） 2. テーマをきめる。いいテーマとはなにか 【予習】教科書を精読（2時間）、【復習】講義の内容の理解を深める（2時間） 3. 論文の中心－仮説と証拠 【予習】教科書を精読（2時間）、【復習】講義の内容の理解を深める（2時間） 4. 三つの証拠－三つの叫び方 【予習】教科書を精読（2時間）、【復習】講義の内容の理解を深める（2時間） 5. 文章に表現する 【予習】教科書を精読（2時間）、【復習】講義の内容の理解を深める（2時間） 6. 論文のまとめ方 【予習】教科書を精読（2時間）、【復習】講義の内容の理解を深める（2時間） 7. 文書に表現する－アマチュアは自己中心。プロは他人のために書く 【予習】教科書を精読（2時間）、【復習】講義の内容の理解を深める（2時間） 8. 順序と流れ、つなぎとまとまり 【予習】教科書を精読（2時間）、【復習】講義の内容の理解を深める（2時間） 9. 注釈と参考文献 【予習】教科書を精読（2時間）、【復習】講義の内容の理解を深める（2時間） 10. これまでの教科書の内容を用いた研究課題の発表 【予習】発表内容の作成と発表準備（4時間）、【復習】良くなかった箇所や理解を深める（2時間） 11. これまでの教科書の内容を用いた研究課題の発表 【予習】発表内容の作成と発表準備（4時間）、【復習】良くなかった箇所や理解を深める（2時間） 12. これまでの教科書の内容を用いた研究課題の発表 【予習】発表内容の作成と発表準備（4時間）、【復習】良くなかった箇所や理解を深める（2時間） 13. これまでの教科書の内容を用いた研究課題の発表 【予習】発表内容の作成と発表準備（4時間）、【復習】良くなかった箇所や理解を深める（2時間） 14. これまでの教科書の内容を用いた研究課題の発表 【予習】発表内容の作成と発表準備（4時間）、【復習】良くなかった箇所や理解を深める（2時間） 15. これまでの教科書の内容を用いた研究課題の発表 【予習】発表内容の作成と発表準備（4時間）、【復習】良くなかった箇所や理解を深める（2時間）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
オーラル・ラーニングを重視します。		
実務経験の有無及び活用		
備考		